

# 知事！お味はいかが？

新土産品「詩夢庵」完成報告

大正時代に建造され、当時ステンドグラス作家の先駆けだった小川三知が手掛けたステンドグラスとともに現存する宮越家「離れ・庭園」が11月2日(月)から期間限定で一般公開されることに先立って、新たな土産品「詩夢庵」の完成報告に10月16日(金)に濱館町長が県庁を訪れて、三村知事へ完成の報告をしました。

この「詩夢庵」は洋風の和菓子で、宮越家9代目当主の宮越正治さんと夫人イハさんの物語をイメージし、小泊地域出身で青森市の洋菓子店「アンジェリック」を営む一戸康彦さんが開発しました。三村知事から太鼓判をいただき、一戸さんは取材に対して「地元の人に愛されるお菓子になってほしい」と語りました。バターや練乳の風味が漂う、離れ「詩夢庵」の名を冠したこのお土産品は、町特産物直売所ピュアとアンジェリック青森店で、1個130円、1箱10個入りが1500円で販売されます。



宮越家「離れ・庭園」をご覧ください。事前には、事前にチケット(1000円)の購入が必要になります。チケット購入や公開に関する情報は、水産商工観光課まで問い合わせるか、町ホームページをご覧ください。



## 巻き起こせ旋風！ライバルを追い抜け！

進め！陸上選手たちよ

中里中学校の陸上競技部員らが濱館町長に、県大会の結果とジュニアオリンピック出場の報告を10月9日(金)にしました。共通男子走幅跳第1位で全国大会出場を決めた外崎隼矢くんは「全力を出し切って上位を目指したい」と抱負を述べました。県大会の結果と全国大会出場選手は次のとおりです。

### ●第30回青森県中学校新人陸上競技選手権大会

- 1年200m…第1位 中畑萌乃
- 2年800m…第1位 坂田一華
- ジャベリックスロー…第1位 鈴木和咲

### ●ジュニアオリンピック出場選手

- 共通男子走幅跳…外崎隼矢
- 共通4×100mリレー…鈴木和咲、坂田一華、三上音羽、中畑里穂、古川郁子

また、シーズン最後の陸上大会「第13回西北五小学生秋季陸上競技選手権大会」が10月11日(日)に行われ、小学校の選手ら約500人が参加し、熱戦を繰り広げました。町内選手の結果は次のとおりです。(3位以内まで)

- ・未就学児男子60m…第2位 秋元一穂
- ・未就学児女子60m…第1位 荒関直花、第2位 永坂美結愛
- ・小学女子2年100m…第2位 野藤柚香
- ・小学男子4年100m…第3位 葛西貴由
- ・小学女子6年100m…第2位 葛西紀香
- ・小学女子共通1500m…第3位 越野桜日
- ・小学男子共通ジャベリックボール投…第2位 鈴木孝樹



## 参加者の協力も得てしっかり感染症対策

### 第10回大沢内ため池ウォーキング

大沢内地区にあるため池を楽しもうと、10月18日(日)に第10回大沢内ため池ウォーキングが開催されました。

今年もコース内に津軽鉄道乗車が生まれ、秋の車窓を楽しんだ後に、自分の足で大地を踏みしめて豊かな自然を満喫していました。

ゴール後は豪華特産品などが当たる抽選に参加者たちは心を躍らせ、また大正浪漫がかおる宮越家「離れ・庭園」をモチーフにした洋風和菓子「詩夢庵」の買い求めに、特産物直売所ピュアに足を運ぶ様子が見られるなど、町の魅力いっぱいのウォーキングイベントに参加者たちは大満足の様子でした。



## また訪れたい町となるように

### 「おもてなし」を学ぶ研修会

高齢者の就業促進に取り組む町生涯現役いきいき活躍プロジェクト協議会が10月19日(月)に役場で、「おもてなし」を学ぶ研修会を開きました。

ANAビジネスソリューションでマナー講師の山野朋美さんが「もう一度訪れたい！会いたい！と思われる」をテーマに講演をし、参加者たちは実技などでおもてなしやマナーの向上を図っていました。

宮越家ボランティアの会の会員らも参加し「山野講師の『小さいことは丁寧に、当たり前

のことは真剣に』に心を打たれた」と話し、おもてなしの心の重要性を再認識していたようでした。



## 避難生活どう乗り切る？

### 町社協が災害を想定の体験会

防災や被害を最小限にとどめるための知識取得や住民同士の関係づくりを目的に、町社会福祉協議会が防災体験事業を10月22日(木)に体育センターで実施しました。

参加者たちは、班に分かれて新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の運営を考える演習や、(一社)コミュニティ・4・チルドレンで福祉・防災学習コーディネーターの菅原清香さんを講師に迎えた講演などで意識向上を図りました。

また、身近にある物の活用法を学ぶ実技では、キッチンペーパーを使ったマスクづくりや段ボールベッドづくりを学びました。そのほかにも、会場内にあるもので避難所を設営する体験も行われ、普段の生活では体験することができない貴重な機会となっていました。



## ソレソレ！チョイとなかどまり

### 合併15周年記念事業

**旧**中里町と旧小泊村が平成17年に合併し、今年で15周年を迎えることを記念した「なかどまり音頭」が新たに制作されました。

作詞を濱館町長が、作曲と歌を音楽デュオ「サエラ」の菊地由利子さん(鶴田町出身)と高橋朋子さん(五所川原市出身)が手がけています。

10月31日(土)には、なかどまり町民文化祭(中里会場)で発表となり、「サエラ」のお二人の生歌・生演奏にのせて中里子ども園の園児たちが踊りを披露しました。



なかどまり音頭のCD(音源)とDVD(踊り)を12月1日(火)から希望者に無料で配布します。配布場所は、水産商工観光課と小泊支所の窓口のみとなっています。来年度の「なかどまりまつり」に向けて練習したい人はぜひ、お求めください。



## 地域の活性化をより強力に

### 日本郵便が連携協定

**地**域の活性化をより強化した連携協定を結ぶこととなり、10月19日(月)に役場で締結式を行いました。

町と日本郵便は平成17年から高齢者の見守りや被災者支援の協定を結んでいます。今回の協定ではさらに、特産物の販売やふるさと納税の支援、行政への人的支援などといったサービスの支援が追加した内容を盛り込んでいます。

濱館町長は「郵便局のネットワークを活かした協力で期待を寄せている」と話しました。

## 行政の相談窓口として16年

### 藪田さんが総務大臣表彰

**行**政相談員を16年にわたって務めた藪田由比子さんが、長年勤めた功績が認められ総務大臣表彰を受けました。

10月23日(金)には役場で伝達式が行われ、濱館町長から表彰状が手渡されました。藪田さんは平成16年から行政相談員として、もう1人の行政相談員である秋元武弘さんとともに、月に1回の定期相談会を開催しているほか、小泊地域では年に2回特設相談会を設けています。

藪田さんはこれまでの活動を振り返って「支えてくれた周囲の人のおかげです」と感謝の言葉を述べました。

「なんでも行政相談」は8ページで、「特設合同相談所」は10ページでご案内しています。

